

宮津ふるさとの森を育てる協議会

平成22年度事業報告

規約 前文

宮津与謝地域の約8割を占め、美しい自然景観を創り出す森林は、日本三景天橋立の借景を織りなし、地球温暖化の防止や土砂災害の防止、水源のかん養、また、動植物・魚類等の生息の場など、私たちに豊かな恵をもたらしています。

現在、この美しい森林は、森林を守り育ててきた方々の高齢化や後継者不足、また、社会経済の波におされ、その豊かな恵みを維持することが困難となっています。

未来に向けて自然豊かな美しい森林を引き継ぐことが、私たちの責務であり、ここに、森林所有者だけでなく、地域住民、NPO団体、企業、行政がひとつになって、宮津与謝の森林を守り育むことを宣言します。

※賛同いただいた29の団体の皆様と共に、平成20年6月15日に、協議会を設立しました。〔平成21年7月18日、平成22年5月22日：総会〕



I 森づくりの実践

①植樹祭『育てよう四季のもり 2010』

日 時：平成22年11月6日（土曜日）

場 所：宮津市字小田 大江山シンボルゾーン 約0.20ha

概 要：参加ボランティア 51名（事務局含総勢 68名）

植栽樹種：ヒノキ、上宮津スギ、アベマキなど 300本（植付）





②雪起し

日 時：平成 22 年 4 月 10 日（土曜日）

場 所：宮津市字小田 大江山シンボルゾーン

概 要：参加ボランティア 18 名 （事務局含総勢 26 名）



③下草刈り

日 時：平成 22 年 7 月 24 日（土曜日）

場 所：宮津市字小田 大江山シンボルゾーン

概 要：参加ボランティア 28 名 （事務局含総勢 37 名）



④ ドングリ拾いと学習会（ポット苗 65 個作成、葉っぱで栞づくり、講座）

日 時：平成 22 年 10 月 2 日（土曜日）

場 所：宮津市字小田 大江山シンボルゾーン

概 要：参加ボランティア 9 名（事務局含総勢 19 名）



II 啓発活動

植樹祭開催時に下記パンフレットを配付し、森林のもつ役割の説明を行い、森林の重要性をアピールしました。

